



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福祉法人 陽心会	代表者	高良 建	法人・事業所の特徴	「24時間365日、小規模だから出来る事がある」住み慣れた地域で、必要な医療と介護のサービスを提供し、本人、家族が共に安心して生活が続けられるよう個々の事情を配慮したサービスの提供を行っている。
事業所名	小規模多機能型ホーム大道	管理者	仲本 親一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	12人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所の自己評価の確認	ケアマネ・看護師・介護職と全体で連携し申し送りを強化して利用者の支援につなげていくよう努力する。	前年度と比べ情報共有において努力の成果が見られ支援に大きく役立っている。	申し送り等や月一の会議で情報共有はよくできている。管理者、ケアマネ、看護師、介護職と意見交換を強化する。情報共有の大切さを意識していく事が大事。	介護職員、ケアマネ、看護師、管理者が利用者の日中から夜間の状況、また基本情報を把握し皆で情報共有の強化を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方々に事業所の存在や雰囲気をお解かりいただけるよう更に工夫していきます。	コロナ禍により見学、面会の制限で地域の方にはほとんどおいで頂くことなく実現できていません。	外部の方々の出入り禁止中で招待ができない。コロナが収束していく状況に応じ定期的に利用者の作品を入れ替えたりにぎやかにしていってらどうか。	コロナ禍が収束した時には地域の方々に気軽においでいただくよう利用者の作品などを披露し入りやすい雰囲気を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域交流室の活用を促進する為情報を発信していきます。	地域交流室の活用法や運動教室を増やし交流を試みましたがコロナ禍により地域交流室は使用制限中です	コロナ禍により誰も使っていないのかかわりがありません。コロナ終息にむけて準備していくことが大事。	地域交流室の活用を促進するためコロナ禍収束にむけ今までのサークルの方々との関係を大切に新規利用者にも使っていただけるよう情報発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	これからも利用者と職員で地域のお祭りやイベントに参加できるよう努力していきます。	コロナ禍の影響により地域のイベント等には参加できていません。	各イベントは中止になったり地域の方々との接点はほとんど樹種しています。最近は訪問が必要な利用者には献身的な支援ができていると思う。	コロナ禍により制限や自粛等不自由があったがその時に応じ適切な判断で支援できるよう努力する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	御家族に負担の無いよう運営推進会議に参加していただけるようお誘いしていきます。	今年度の運営推進会議は職員だけで行い通常参加されています皆様には資料を配布しています。コロナ対策や定例会議にて職員で話し合い支援につなげています。	コロナ禍が落ち着けばご家族や介護職員も参加できるよう工夫していくことが大事。	現在まで利用者家族や介護職員など積極的に参加できなかったが多かったが参加を募りご家族をお誘いしたりと全体の連携を深めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練には更に地域の皆さんに参加できるよう情報発信していきます。	防災訓練はコロナの影響で職員と利用者で行いました。地域の皆様に参加いただく事は実現していません。	コロナ禍であってもマスク着用や感染対策を徹底すれば地域の方々も参加できるのではないかと。	防災訓練開催時には前もって地域の皆さんやご家族さんなど参加いただき防災に対し意識を高めていくよう努力する。